

次世代育成支援対策推進計画の実施状況

守口市門真市消防組合

次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画における本消防組合の行動計画実施状況を公表します。

○ 男性職員の配偶者出産休暇の取得について

【目標】
※ 男性職員の配偶者出産休暇の取得率を100%となるように努める。

目標値	年度	出産人数	取得者数	取得率	休暇可能日数	休暇取得日数	取得率
100%	28年度	29人	29人	100%	123日	112日	91%
	29年度	27人	27人	100%	119日	110日	92%

達成状況及び取組内容
配偶者の出産に対して全職員が取得し、取得日数は前年度より増加しているものの目標値の100%には達していない。今後、業務に影響が出ないよう計画的に休暇取得を促すとともに、取得しやすい職場環境づくりを行います。

○ 育児休業の取得について

【目標】
※ 国の「次世代育成支援に関する当面の取組方針」において、社会全体の育児休業目標取得率は、女性80%、男性10%とされているが、本消防組合は取得例がないため、当面の目標として取得実績が生じることとする。

目標値	年度	育休可能（男性）			育休可能（女性）		
		職員数	取得者	取得率	職員数	取得者	取得率
1人以上	28年度	69人	0	0%	0	0	0%
	29年度	75人	0	0%	0	0	0%

達成状況及び取組内容
29年度についても取得者が無かったが、希望者が出た場合、毎日勤務に配置換えする等、業務の影響をできるだけ少なくなるよう工夫し、取得しやすい職場環境づくりを行います。

○ 時間外勤務の状況について

【目標】
※ 人事院の「超過勤務の縮減に関する指針について」で定められている職員1人の上限目安時間である年間360時間を超えないとともに、過重労働による健康防止の観点から、月35時間を超えないことを目標とする。

目標値	年度	対象人員	年間（人）		割合	年間（回）		割合
			360時間以上			月35時間以上		
0人	28年度	234人	3人	1%	117回	4%		
	29年度	237人	0人	0%	86回	3%		

達成状況及び取組内容
前年の取組課題であった時間外の削減について、年間360時間以上及び月35時間以上の時間外対象者は減ってきているものの、未だ救急隊員によるものが大部分を占めており、出場回数が多い職員は、他の職員と乗り換え等工夫し、引き続き職員の負担軽減に努めます。併せて「ノー残業デー」（水曜日）も継続し、年間を通じた時間外の削減に努めます。

○ 年次有給休暇の取得について

【目標】
 ※ 毎日勤務職員の年次有給休暇が10日以上で、全職員の年次有給休暇平均取得日数を13日となるように努める。

目標値		年度		職員数	付与日数	取得日数	平均取得	平均取得日数	
毎日勤務	全職員							全職員	
10日	13日	28年度	毎日勤務	70人	2654日	575日	8.2日	全職員	11.7日
			交替勤務	293人	10808日	3666日	12.5日		
		29年度	毎日勤務	63人	2518日	620日	9.8日	全職員	12.6日
			交替勤務	274人	10561日	3621日	13.2日		

達成状況及び取組内容
 毎日勤務・全職員とも、目標値には至らなかったが、今年度は啓発の効果が表れ、取得日数がどちらも目標値に近い日数まで増加している。年次有給休暇の取得促進は、子どもとふれあう時間を確保するためだけでなく、職員の健康維持増進や福祉の向上を図る目的から引き続き啓発します。